

## 「土器づくり Part2」

2/19(木)6年生が野焼きによる土器の焼成を行いました。

土器の焼成にあたって、注意する点が急激な温度変化。半月前につくった土器はカラカラに乾いているように見えますが、実は水分が残っていて、いきなり焼くとひび割れてしまうとのこと。徐々に、徐々に温度を上げるように焼くことが大事なのだそうです。火から離れたところから、少しずつ炎に近づけてじっくりと焼いていきます。

さて、じっくりと土器の焼成がされていく間、竪穴住居の土台(基礎)づくりを体験します。住居に見立てた中を一段深く掘り、浸水を防ぐために周りを高くします。さらに、柱が立つ部分を仲間と協力して深く掘ります。こうして縄文時代の『住』が出来上がっていきます。

『住』の次は、『火起こし』です。木の棒と板をこすり合わせて、火種をつくり、タイミングよく燃えやすい繊維へ移しとります。互いに声をかけながら、何度もチャレンジしていました。

『火起こし』の体験が終わるころ、土器の熱が冷めました。煮炊きができる『MY土器』の完成です。





